

浜松市浜北区内の中学生が演劇に取り組みながら表現力や対話力などを磨く恒例の企画「お芝居プロジェクト」で、今年は指導リーダーを務め、10月下旬に同区の北浜南部協働センターで発表した。静岡文化芸術大文化政策学部3年で、大学では演劇マネジメントなどを学んでいる。水戸市出身。21歳。

—お芝居プロジェクトの成果は。

「発表では学生と生徒30人ほどで白雪姫や赤ずきんなどを上演した。9月から4回の稽古をするうちに、中学生が主体的にせりふや

中学生に演技指導した
大学生グループ「ぶちまり」の代表

あべ ふうこ さん (中区城北)
阿部 楓子

この人



登場人物の性格などを考えるようになり、意見をはっきり言えるようになった

—課題は。

「複数の中学から参加してもらったが、生徒は同じ学校の子とばかり話しがちだった。以前にプロジェクトに参加した高校生も加えたが、高校生には中学生に

もっと関わってもらいたかった。来年はこうした壁をなくせるようにしたい」

—グループの代表を務めた理由は。

「小学生のころから演劇に取り組んでいて、芝居が好き。一生懸命に役を演じる中学生を見ていて、逆に学ばせてもらう部分も大きかった」

—今後の目標は。

「子どもの教育に興味が湧いてきた。お芝居プロジェクトのようなワークショップを続けたい」

◇ 演劇を続けたことで人見知りを克服したという。